

施設整備の考え方

(市立特別支援学校設置事業及び源池小学校長寿命化改良事業)

施設整備の概要

1 目的

市立特別支援学校（以下「支援学校」という。）と源池小学校が、個々の学びを大切にしつつ、子どもたちの自然な混ざり合いや日常的な交流・活動などが行いやすい新しい学校づくりを進め、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な学びの場を整備するもの

2 整備方針

- (1) 支援学校に必要な機能及び児童の特性に配慮し、小学校と支援学校の交流を育む校舎
- (2) 環境に配慮し、安心・安全に快適な生活を送ることができる校舎
- (3) 学校活動等への影響を最小限に抑え、安全かつ円滑な工事計画

3 新たに確保する教室等の想定規模

- (1) 教室6室、自立活動室2室、プレイルーム、カームダウン・クールダウン室、教材室、トイレ・更衣室等
- (2) 鉄筋コンクリート2階建て 延べ床面積 約1,500平方メートル以下

4 スケジュール

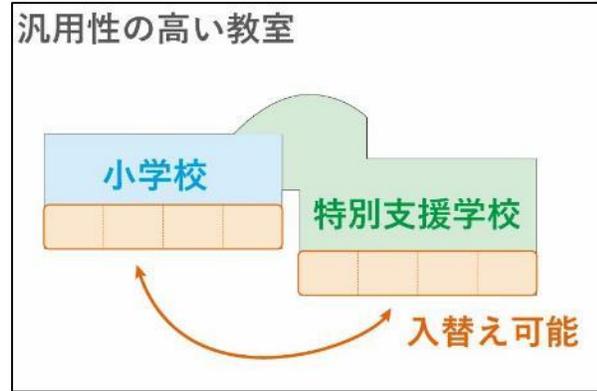
	R7	R8	R9	R10	R11
学校の状況			(寿台支援学校分教室)	(寿台支援学校分教室)	開校
特支学校 対象児童	(年中・年長児)	(年長児・小1)	小1・小2	小1・小2・小3	～小4
源池小学校 施設整備		設計業務	増築棟新築工事（～R10）、長寿命化改良工事（～R13）	仮設校舎利用（～R13）	
			仮設校舎建設		

施設整備の考え方

多様な他者との対話や、時間を共に過ごし理解を深めることで生まれる学びのキッカケを育む校舎

○自然なつながり

- ・ 既存校舎と増築棟が自然な形で接続し、教室の入替えが可能に。
- ・ プレイルームや「源池の森」での日常的な交流を育む。



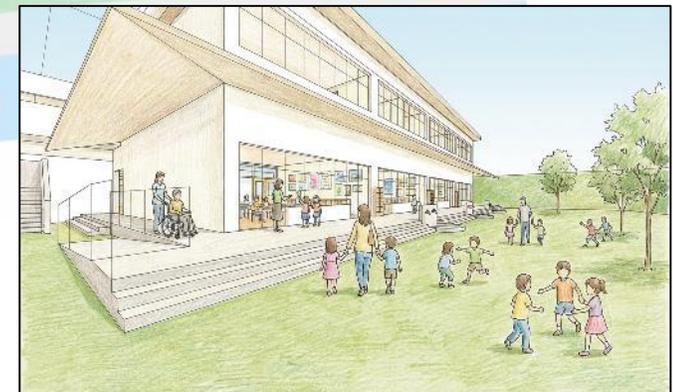
○可変性の高い教室

個別学習やグループ学習に柔軟に対応できるように、間仕切り等の移動ができるフレキシブルな教室



文部科学省資料より

全体構想図



「源池の森」を生かした交流の広がり

※ 地域から要望されている源池小学校内への放課後児童クラブの設置も検討